

No.771 February 2021

ASAHI MACHI

Public Relations

㊦ 広報 あさひまち



冬限定すべり台 満喫中！

2021

2

No.771



▲豪雨災害時の様子（助ノ巻）。今回いただいた寄付金の一部を活用して遊歩道の復旧を支援
◀ふるさと納税ポータルサイトの実際の画面

【町外のみなさんの善意に感謝】

令和2年7月豪雨災害に対し温かいご支援をいただきました

昨年7月28日を中心に関東地方に降り注いだ豪雨により、町内各地で多数の災害が発生したこと、町はふるさと納税ポータルサイト内に「災害支援寄付サイト」を立ち上げ、寄付を募集しました。この災害支援寄付は、返礼品を希望しないふるさと納税（自治体への寄付）のひとつで、7月29日から今年1月11日までの期間で募集して全国から合計60件、101万1千円という多大な寄付と温かい応援メッセージをいただきました。

この寄付金は災害からの復旧・復興のために利用するため、朝日町地域活躍応援事業のうち、被災した各地区が管理する土地や道路、水路などの復旧の支援に活用されます。「特産品のみならず当町の課題解決への関心を深めてもらうため、寄付者に対して、寄付金の活用状況や町の情報を継続して発信する取り組みに力を入れている」と話すのは、業務を管轄する佐藤修政政策推進課長。政策推進課では今後の運用方針について「寄付者に年2回発行する朝日町ふるさと通信などを通じて、寄付金の使い道や災害からの復旧・復興状況を分かりやすく伝えるとともに、寄付者の思いを形にすることで今後も選ばれる町を目指していく」としています。

いただいた応援メッセージの一部をご紹介します

- ・三重県の朝日町から応援しています。早く復興できる事を願っております。
- ・大好きな朝日町のリングで毎年癒されておりました。感謝の気持ちを込めて元気パワーをお送りします。
- ・公私ともにお世話になり今もご縁をいただいている大切な場所です。尊敬するみなさん、大好きな景色、大切な思い出。1日も早く安心と穏やかな日常が戻ることを祈っています。
- ・以前、朝日町を訪れたご縁で、少しばかりですが応援させていただきます！とても素敵な人たちと自然に出会えたので、恩返しの気持ちを込めて。
- ・朝日町は私にとってとてもゆかりがある町です。この度の災害は予想を超えるものになってしまいましたが、復興までできる限りの支援をさせていただきますので、一緒に頑張りましょう！

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
令和2年7月豪雨災害に対し温かいご支援をいただきました
- P4 特集
探究的な学びの記録
- P10 町政スポット
・山形連携中枢都市圏の連携市町が増えました
・山形県イノシシ被害防除研修会 ほか
- P12 まちレポ
・語りの会つむぎ 杉山元気クラブで公演
・日本・台湾お正月料理比べ大会 ほか
- P14 住人十色
- P15 収益金で町内4つの福祉施設へ車椅子2台等を寄贈
新型コロナウイルス感染防止のお願い
- P16 阿部良子さん（元町）が「自分を励ます絵手紙」第4集を出版、スポーツ大会の入賞結果
- P17 それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアムサテライト散策
- P19 戸籍のまど、となりのりんごさん
- P20 大谷小学校6年生が作成したふるさとCM町ホームページにて配信中！

表紙の写真



1月21日、この日は青空が広がる気持ちの良い天候で、あさひ保育園の園庭では雪遊びが行われていました。大人にとっては除雪でうんざりする雪も、子どもたちには最高の遊び道具。そりに乗ったり、雪の塊を積み上げたりとどの子ども笑顔で雪と戯れていました。

町長歳時記 （171）

未来に夢を描く ～描いた夢は、実現する～

コロナ禍による全世界の閉塞感は頂点に達し、いつ果てるともない不安と焦燥に人々の心は荒みきって、心の冷静さを保ち続けることさえ困難を極めていました。

そんなコロナ禍第3波に覆われた昨年12月6日地球に帰還した「はやぶさ2」は日本が誇る小惑星探査機で、小惑星「リュウグウ」への着陸と惑星のサンプル採取持ち帰りを成功させました。このように未曾有の困難時でさえ明日へ夢を描き、希望を力として前進し続けてきたのが人間であります。

いよいよ新型コロナウイルスワクチン接種が2月から医療従事者へ開始され、高齢者への接種を4月初めから行うと発表がありました。

通常、ワクチン開発には何十年という時間がかかると言われていたのですが、今回の対応はパンデミックという事情の中ではありましたが、極めて早期の開発が実現されました。

ファイザー社のワクチンはmRNAを活用しターゲットとなるウイルスの遺伝子情報があると、その遺伝子情報のみから作れるので非常に素早く作ることができ、なおかつ有効性が90%と、よく効くワクチンだということです。このように人間は、危機的状況になった時、今までの研究の粋を集め、最先端の科学技術を駆使して、困難への最善の対応を成し遂げます。

宇宙への挑戦は言うに及ばず、自動運転、空飛ぶクルマ、AI内視鏡、バイオ3Dプリンターによる人工臓器などなど、遙か遠くに夢見た未来は、急速に私たちの前に姿を現し、その進歩が世界の課題克服へとつながっていくのです。

未来に夢を描けるのは人類の素晴らしさであり、描いた夢は実現しています。そして夢に描いていることが、将来の希望につながっていくのです。

朝日町長 鈴木浩孝

朝日中学校第一学年 総合的な学習の時間（きらめきタイム）

Search for Asahi ～朝日町を知る～

道の駅あさひまち「りんごの森」



JAさがえ西村山果実流通センター



旧三申分校

「朝日探究の日」の学び

ウサビの豆知識
Q 学校の話題でよく目にする「総合的な学習の時間」って何？
A 自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し、自律できる「生きる力」を身に付けるための時間だよ。学び方やものの考え方を身体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えられるように学ばふんだよ。



朝日中学校は総合的な学習の時間の学校全体テーマを「共生」とし、生命を尊び、多くの人やものとのつながりの中で生きている自己を発見し、人・自然・社会との関わりの中で自らの役割を見つけ、よりよく生きていこうとする心情を育てることを目指しています。第一学年では、「Search for Asahi」朝日町を知るをテーマに「地域とつながり、よさを再発見する中学生」になることを目標に掲げて学んできました。生徒たちはその目標の実現に向けて、2つのプロジェクトを立ち上げました。「りんご探究プロジェクト」と「朝日探究プロジェクト」です。プロジェクトの内容は次頁から紹介します。



摘果作業



合格シールが貼られたリンゴ



収穫作業



3年生への贈呈



「郷土Yamagataふるさと探究コンテスト」授賞式

令和2年11月、山形県教育委員会が主催し、県内小中高生がふるさとの魅力を発表する「郷土Yamagataふるさと探究コンテスト(※)」において、朝日中学校一年生が中学生の部で最優秀賞に当たる「ふるさと探究大賞」に輝きました。その発表は「地域をよく知り、そこから学びを深めている」と審査員の方から高く評価されました。

※…山形県教育委員会が策定した第6次山形県教育振興計画の「郷土に誇りを持ち、地域とつながる心を育成する」という基本方針の一つについての取組みが、「郷土Yamagataふるさと探究コンテスト」です(平成28年度から実施し今年度で5回目)。町内の小中学校は第2回から応募を始め、これまでに複数回優秀賞や大賞を受賞しています。

しかし、生徒たちの学びはコンテストが最終目標ではありません。生徒たちはコンテストの後も学習の成果を探究レポートとしてまとめ、「深い学びの報告会」に向けて、準備してきました。

今月号では地域の多くの方々に支えられながら学んできた生徒たちの頑張りや学びの成果について特集します。

特集

探究的な学びの記録

朝日中学校第一学年

探究テーマは
それぞれが興味や関心がある
ことの中から自分で
設定しました！



あまと
堀 天時 さん

朝日町について深く学ぶ中で、地域の課題を見つけ解決し、地域とつながること、地域の良さを「再発見」する中学生になること

探究テーマ
朝日町について下記の4つを切り口に探究テーマを設定し、より深く調べていきました。テーマ選定には、取っ掛かりとなる資料として町で発行した「タカラモノガタリ」や「第6次総合発展計画」を活用。頁下部では例として、テーマ毎に1人、探究タイトルと概要を掲載しています。



探究テーマ「歴史」
朝日町の時代の変化を可視化する
～建物の構造の視点から～
旧三申分校やJ Aさがえ西村山西五百川支所など朝日町の歴史ある建物の素材や構造、当時の様子を調査して現在と昔を比較しました。



阿部ひゆり さん



探究テーマ「りんご」
朝日町のりんごの特徴
～他地域に誇れる新たな品種の提案～
朝日町で栽培されている代表的なりんごの種類や特徴、その育種（品種改良）について調査。アンケートを取り、ニーズに合った新たな品種の提案をしました。



ゆうと
阿部 佑音 さん



探究テーマ「自然」
最上川が朝日町に及ぼした影響
～功罪の視点で考える～
最上川の歴史を文献や有識者に話を聞いて調査し、最上川が町に及ぼした影響についてプラスの面としての上郷ダムとマイナスの面としての水害についてまとめました。



しゅり
長岡 琉璃 さん



探究テーマ「人」
桃色ウサヒの誕生に見る朝日町の未来とは
ウサヒと中の人である佐藤恒平氏について、文献による調査や本人へのインタビューにて、ウサヒの活動の狙いやこれまでの功績を理解した上で、町を有名にするために何が必要かを考察しました。



ゆいな
佐藤 結菜 さん

朝日探究プロジェクト Research on Asahi Project

地域とつながり
地域の良さを
再発見する学び

プロジェクトのゴール

50人一人ひとりが朝日町を知るためにそれぞれが設定した研究テーマ（課題）について「探究レポート」を作成し、「深い学びの報告会」でプレゼンテーションすること

目的

朝日町について深く学ぶ中で、地域の課題を見つけ解決し、地域とつながること、地域の良さを「再発見」する中学生になること

主な学習過程

- ① 研究の進め方・探究テーマの決定
- ② 新聞の見方・活用講座
- ③ 探究テーマゼミナール
- ④ 探究講座
- ⑤ 朝日探究の日
- ⑥ 報告会に向けたレポートの作成
- ⑦ 深い学びの報告書
- ⑧ 探究レポート深い学びの報告会

りんご探究プロジェクト Research on Apples Project

町のリンゴが
美味しい理由を
求めて

プロジェクトのゴール

町のリンゴ園で栽培体験学習を通して、合格の2文字が描かれた風雨にも落ちない「合格りんご」を作り、受験生である3年生にプレゼントすること

目的

朝日町の象徴ともいえるリンゴづくりを実際に体験することでより深い学びを実践し、町のリンゴが美味しい理由を知ること

主な学習過程

- ① 摘果作業体験
- ② 文字シール作成
- ③ 袋かけ作業体験
- ④ 文字シール貼り作業体験
- ⑤ 玉まわし作業体験
- ⑥ 合格りんご収穫作業体験
- ⑦ 受験生へ合格りんご贈呈



文字シール貼り作業体験



なな
峯田 七奈 さん

りんごは丸くてシールを貼るのが難しかったけど、工夫してきれいに貼れました！



あおい
近藤 碧唯 さん

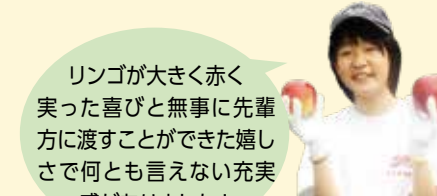


文字シール作成



あみ
浅岡 亜美 さん

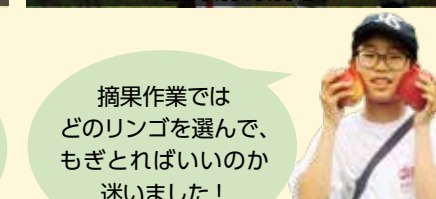
先輩が喜んでくれるようなりんごを作るために、美しい字を意識して頑張りました！



ひなの
佐久間陽菜乃 さん

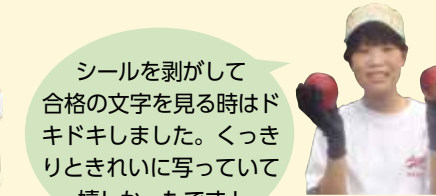


摘果作業体験



がく
海野 我空 さん

摘果作業ではどのりんごを選んで、もぎとればいいのか迷いました！



なつき
白田 夏希 さん

りんごが大きく赤く実った喜びと無事に先輩方に渡すことができた嬉しさで何とも言えない充実感がありました！

シールを剥がして合格の文字を見る時はドキドキしました。くっきりときれいに写っていて嬉しかったです！



▲A4サイズで258頁
生徒たちの1年間の成果
がまとめられています

生徒たちが自分で調べたことを次の
レポートの形式に沿って、パソコンを
使用して作成しました。

☆レポートの形式

1. 探究テーマ
2. 探究の動機や目的
3. 探究の方法や内容
4. 探究の結果と考察
5. 感想と今後の課題
6. その他、参考文献

レポートは図やグラフを掲載し、読
みやすいよう工夫がされていました。
中にはアンケートを自作し、その結果
を載せている生徒も。そうした生徒た
ちのレポートをまとめたものが左の写
真の朝日探究報告書です。この報告書
は町立図書館で読むことができます。

学んだ成果を 発表し さらに高め合う

探究レポートの作成

深い学びの報告会

これまでの探究の成果をまとめた探
究レポートを元に同じ第一学年の生徒
の前でプレゼンテーションをする「深
い学びの報告会」が行われました（教
育関係者や保護者等を招待して大勢
の前で開催する予定でしたがコロナ禍
のため縮小しての開催となりました）。

発表後は生徒たちによる質疑応答
や良かった点、アドバイスの意見発
表があり、発表者からの一方的な伝達
で終わらない継続した学びを体現した
姿がそこにはありました。



▲2月4日に行われた「自然」をテーマにした生徒た
ちがプレゼンした「深い学びの報告会」の様子

朝日中一年生は自分たちの住む朝日
町との関わりを深く学ぶ中で、地域
社会の課題を見つけ解決し、地域とつ
ながり、地域のよさを「再発見」しよ
うと学びを深めてきました。生徒たち
は、実施してきた様々な学習活動の中
で互いに学び合い、高め合うことがで
きるようになってきています。

本校では「朝日中らしい学び合い」
が生まれる授業づくりのために必要な
力である「探究する力」について、教
科の枠を越え、教科と教科をつなぐこ
とを通して探究型学習へのアプローチ
を試みてきました。その成果の一つが
総合的な学習の時間（きらめきタイム）
です。

一年間、「地域」をテーマにした総
合的な学習の時間を通して、本学年
生徒50人は、地域の方々に支えられ、
仲間と協働しながら探究的な学びを
通し、朝日町のよさを「再発見」する
ことができた貴重な学びの時間になっ
たことを確信しています。



朝日中学校
第一学年主任
小山田 芳春 先生



探究をする上で協力していただいた地域の先生方

多くの先生方の 手を借り 学びを深める

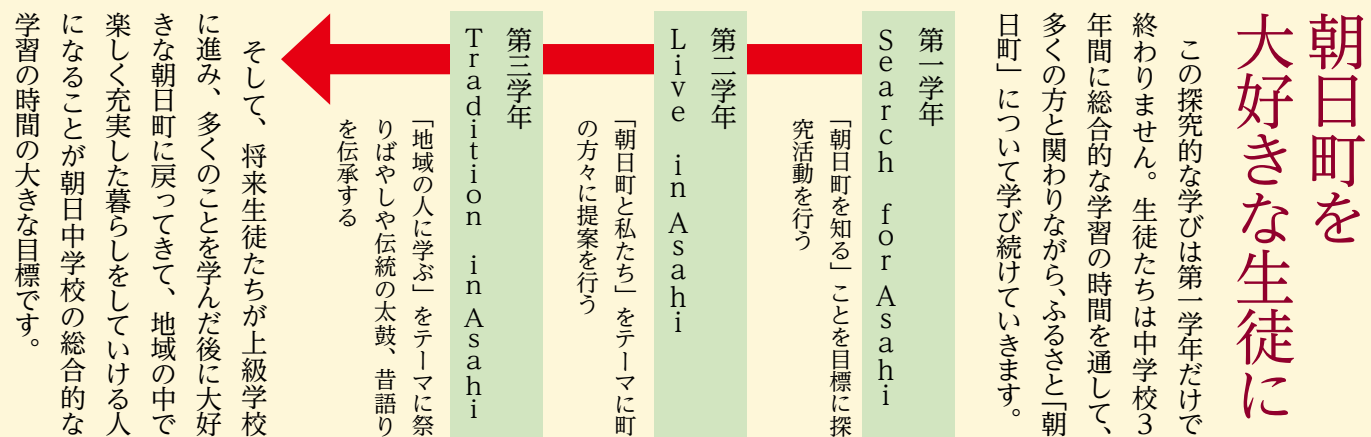
主体的・協働的な学び

生徒それぞれが自分の興味・関心をも
って設定したテーマの探究過程や課
題設定に応じた解決方法について、35
人もの地域の先生方から支援をいた
だき、学びの大きな支えになってもら
いました。朝日町に生まれた一人として
町について探究テーマを通して学ん
でいく中で、町に生きる自分について深
い学びをすることができました。

地域の先生方からは一人ひとりの
学び方や探究方法について具体的な
アドバイスをいただき、質問に対しても
丁寧に答えていただきました。
探究レポートが完成できたのは先生方
のおかげです。



海野 結菜 さん



インタビュー Interview



テーマ「歴史」を支援
長岡 信悦 さん

今後の活躍に期待しています

朝日町の歴史についていろ
んな視点から探究することによ
り、各地区の文化や伝統が、人々
の努力により伝えられているこ
とがわかったと思います。皆さ
んがそれを受け継ぎ、発展させ
てくれることを願っています。

素晴らしい取り組みでした

普通に生活しているだけでは
なかなか気付けない朝日町の良
いところに着目した素晴らしい
探究でした。ぜひこれからも今
回の学習を生かして朝日町の良
いところ・良い自然に気付いて
もらえたらと思います。

インタビュー Interview



テーマ「自然」を支援
西澤 信雄 さん

「朝日町消防団ビジョン」を策定 ～地域住民の安心・安全を確保する組織を～

■総務課 危機管理係 ☎67-2111



鈴木町長へ「朝日町消防団ビジョン」を提出する浅岡団長

昨年12月、町及び町消防団は社会の変化に柔軟に対応し、地域住民の安心・安全を確保する組織であり続けるための行動方針を定めた「朝日町消防団ビジョン」を策定しました。ビジョン策定に向け、平成30年度から各部の意見聴取会や区長との意見交換会、消防団幹部での検討会などを行ってきました。

1月22日には浅岡清二郎団長から鈴木町長へ提出され、浅岡団長は「ビジョンで示したものを具体的な行動に移し、今後も地域住民の安心安全のために頑張っていきたい」と意気込みを語っていました。

■概要

○計画期間

令和2年度～令和9年度

○今後の取り組み方針

- ・活力があり地域の安心・安全のため活動できる持続可能な消防団組織の育成
- ・団員がやりがいと魅力を感じる消防団活動の推進
- ・災害時における対応力の向上及び他組織との連携強化

○年度別取り組み

令和3年4月1日～

- ・配備車両等の見直し
小型動力ポンプ25台→10台
(15台減)

※今後、ポンプが減少する地区と調整を図っていく。

※地区でポンプを運用管理していく場合もあり。

・機能別消防団員の拡充

平日、日中火災の消防力の低下を防ぐため、これまでの人数から増員。

(全体で概ね50名程度)

・部の班数を削減

43班→26班(17班減)

山形連携中枢都市圏の連携市町が増えました

■政策推進課 総合政策係 ☎67-2112



連携協約締結の様子。左から菅根光雄尾花沢市長、佐藤孝弘山形市長、村岡藤弥大石田市長。この他の各市町長はリモートにて参加

中核市の山形市を中心とする山形連携中枢都市圏は1月12日、新たに尾花沢市・大石田市との間で山形連携中枢都市圏連携協約を締結しました。これにより、同都市圏の連携市町が、村山地区全域の7市7町(※)となりました。各市町の強みを組み合わせて一丸となり、東北地方で一番元気なエリアとして発展していくことを目指します。

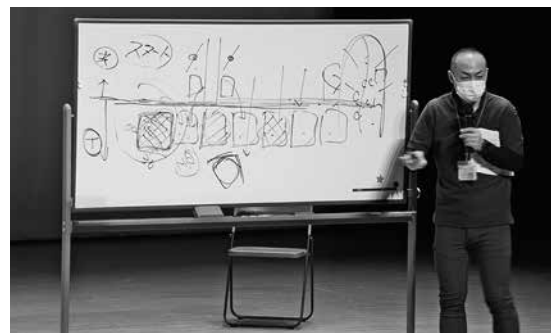
※山形市・寒河江市・上市市・村山市・天童市・東根市・尾花沢市・山辺町・中山町・河北町・西川町・朝日町・大江町・大石田町

【山形連携中枢都市圏とは】各市町が連携して様々な施策を実施し、地域の活性化を通じて魅力ある圏域となることを目指します。これにより、人口減少・少子高齢化社会にあっても、山形県ひいては東北地方の中核として人口のダム機能を果たしていくことが期待されています。

連携による広域観光の促進、次世代型医療用重粒子線照射装置利用のPR、子育て支援センターの相互利用など、今後も様々な連携事業を実施し、圏域の活性化を図っていきます。

農作物への被害を抑える 山形県イノシシ被害防除研修会

■農林振興課 農林振興係 ☎67-2114



1月21日、山形県が主催するイノシシ被害防除研修会が創造館ホールで行われ、町民など約50人が参加しました。今年度は例年に比べイノシシ等の有害鳥獣による農作物被害が多数発生し、町ではイノシシ88頭が捕獲されています(前年度は43頭を捕獲)。今回の研修会はその状況を受け入れられたものです。

研修会では、講師として農林水産省の農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーである岩手県釜石市役所産業振興部農林課係長の荒尾穂高氏が効率的な罠の設置の方法や周辺住民の

意思統一の重要性等について講演。荒尾氏は鳥獣被害を軽減させるポイントとして、鳥獣の生態を知ることや個人の対策と合わせて、地域内で連携して取り組んでいくことが大事であると話されました。

参加した農家の一人は、「イノシシ対策には、ビニールテープでもいいから畑を囲うのが一番というお話だったので、シーズンになったら早速実施してみたい」と話していました。

町は今後も被害対策の研修会等を開催し、共助による体制づくりを推進していきます。

▲隣り合う田んぼではそれぞれが罠で囲うのではなく、合同で囲った方が無駄も少なく問題にならないと語る荒尾氏

投票率 74.41% 1月24日執行 山形県知事選挙投票結果

■選挙管理委員会事務局(総務課内) ☎67-2111

■朝日町開票区

得票数 順位	候補者名	党派名	得票数
1	吉村 みえこ	無所属	3,022
2	大内 りか	無所属	1,238
	無効(白票ほか)		32
	投票総数		4,292

町の投票率は12年前に行われた前回(78.44%)より4.03ポイント低い74.41%。県全体の投票率は62.94%で、朝日町は県内では8番目の投票率となりました。期日前投票は、投票総数4,292票のうち1,502票でした。



▲やまがら・かもしか組の「けけ石物語」
▶りんご組の「プー!スカパーティー!」



1/16

保護者が見守る中、堂々のステージ発表 あさひ保育園 あさひっこ発表会

あさひ保育園のあさひっこ発表会が1月16日、あさひ保育園あさひっこルームで行われました。園児たちは家族らに見守られる中、この日のために練習した劇や踊りを披露。クラス毎のテーマに合わせた衣装を身にまとい、元気に躍動しました。保護者たちは堂々と演技する姿に釘付け。観覧後は園児たちの成長に感動していました。発表後には、園児たちへのごほうびにプレゼントが用意され、緊張が解け、達成感にあふれた笑顔で受け取っていました。



◀積雪のため屋外での十分な運動ができないストレスを楽しく発散

1/16

屋内で楽しく体を動かそう コンディショニング教室

屋内で楽しく、効率的な体の動かし方を学ぶコンディショニング教室が1月16日、宮宿小学校体育館で行われました。ジュニアマラソンクラブ会員と町内スポーツ少年団員約30人が参加しました。講師は町とまちづくり事業で提携を結ぶミズノ(株)の協力で、ミズノフィットネスインストラクターの井上響氏。遊びの要素を取り入れたサーキットトレーニングをメインにウォーミングアップやストレッチなどを子どもたちに指導しました。参加者の1人は「思いつき運動できて楽しかった」と笑顔で話していました。



▶米に種麴を混ぜ米麴をつかった1日目



1/15
18

毎年好評の手づくり教室 みんなで味噌づくり講座

町農業委員会の女性農業委員が企画・指導する味噌づくり講座が1月15日と18日の両日に町開発センターで行われ、18人が参加しました。女性農業委員の認知度・地位の向上等を目的に実施し、今年で4年目。1日目は味噌の材料となる米麴(こうじ)をつくり、2日目にその麴と蒸した大豆、塩を混ぜてミンチにして味噌を仕込みました。毎年参加している方は「昨年よりも麴づくりがうまくいったので今年はよりおいしい味噌ができるのではと期待しています」と話していました。



◀2歳児クラスのみなさんも集中してお話を聞いていました

1/21

昔話で「聞く力」を身に付ける あさひ保育園で昔語り

1月21日、子どもたちの聞く力を育てる「昔語り」があさひ保育園で行われました。この会は「語りの会つむぎ(成原千枝代表)」により行われ、保育園で定期的に開催されています。令和2年度は4回目ですが今年度最後の開催。いつもは3歳児クラスから上の園児が対象でしたが、今回は初めて2歳児クラスの園児もお話を聞きました。成原代表は、「子どもたちは目も耳もこちらにしっかりと向けてくれて、集中して上手に聞いてくれました」と笑顔で話していました。



▶約20人の元気クラブ会員が参加し、出し物を楽しみました



12/14

笑うことが元気の源 語りの会つむぎ 杉山元気クラブで公演

12月14日、昔話を守り伝える活動を行う「語りの会つむぎ(成原千枝代表)」による訪問上演が、杉山公民館で行われました。杉山元気クラブ(浅岡定一代表)の活動日に合わせて、5人のメンバーが訪問。民話劇「若返りの水」や昔話語り、花笠音頭など、楽しい出し物が披露されました。成原代表は、「コロナ禍で楽しい話題が少ない昨今ですが、今回笑顔を見ることができて嬉しく思います。みなさんの笑顔をもって私たちも元気をいただきました」と語っていました。



◀大根もちや豆干炒め、台湾風キムチ等、林さんが作った台湾料理

12/21

オンラインで繋がる朝日町と台湾 日本・台湾お正月料理比べ大会

12月21日、台湾出身で町のインバウンド推進員である林以真(りんいしん)さんが主催する日本・台湾お正月料理比べ大会が松本亭一農舎で開催されました。このイベントは台湾の方とオンライン上で繋がりがながら2か国のお正月料理を食べ比べ交流するというもの。参加者たちはテレビ画面を通してお互いの文化の共通点や違いについて理解を深めました。料理を食べ比べた参加者は「台湾の料理は日本料理には無い独特の香りと味で、なじみはありませんがおいしかったです」と笑顔で話してくれました。



▶床の凹凸やローラーの癖で、ローラーが真っすぐに滑らず盛り上がりました



12/26

朝日ふれあいスポーツクラブ カローリング体験教室

12月26日、町民体育館を会場に朝日ふれあいスポーツクラブが主催するカローリング体験教室が開催されました。カローリングとは、氷上で行うカーリングを室内で気軽に行えるよう日本で考案されたニュースポーツです。年齢や性別、体力に関係なく、室内で行うため天候に左右されることがありません。参加者は「初めてプレイしたが、想像以上に面白く、またやってみたい」と笑顔で話していました。町ではカローリング用品(1セット)の貸出しをしています。希望する方は町教育委員会(67-2118)までご連絡ください。



▲感染防止のためマスクをした上にシールド付の面を着けての試合

12/29
30

剣の道は人をつくる道 朝日少年少女剣道錬成大会

町体育協会が主催する朝日少年少女剣道錬成大会が12月29日と30日にかけて、大谷小学校体育館を会場に開催されました。令和2年は新型コロナウイルスの影響により各種大会が中止となり、練習の成果を発揮する機会が無かったことから企画された今大会。大会には町内の小中学生約20人が出場し、29日は個人戦、30日には一般も交えての混合チームによる団体戦が行われました。出場した子どもたちは白熱した試合を繰り広げ、令和2年の締めくくりにふさわしい大会となりました。

朝日中学校「アルミ缶回収ボランティア」 収益金で町内4つの福祉施設へ車椅子2台等を寄贈



朝日中学校では平成26年から、生徒会活動の一環として、地域に呼びかけて集めたアルミ缶を資源として換金し、そのお金で購入した車椅子等を町内福祉施設に贈呈する活動が続いています。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、アルミ缶を直接学校に持ってきてもらう方法に変更し、回数も例年と比べ1回減らしての実施。2回の収集で3,030キロを回収しました。12月21日、活動の集大成となる贈呈式が同校で行われ、町内4つの福祉施設（和合荘、ふれあい荘、明鏡荘、グループホームあさひ）に、車椅子2台と歩行器1台、非接触型体温計3個が贈られました。

式では、生徒代表で鈴木聖人



さん（助ノ巻）が「町の皆さんのご協力のおかげでたくさん福祉機器を贈呈することができました。これからも活動を継続し、地域の一員として貢献していきますましよう」とあいさつ。続いて4施設の代表者がそれぞれ謝辞を述べました。

「コロナ禍で実施できる心配でしたが地域の皆さんの協力で生徒たちの『社会貢献』の思いを無事形にできたこと、本当に良かったです。地域のために自分たちができることをがんばる意欲にもつながると思います」と語る朝日中学校の原田正明校長先生。生徒たちのがんばりに年々協力者が増えている当活動。生徒と地域との交流も年々深まっています。

町長から町民の皆さまへ 新型コロナウイルス感染防止のお願い



▲この画像は町ホームページの桃色ウサヒのフリー素材からダウンロードできますので、啓発等を行う際にご利用ください



2月1日現在、町内において、新型コロナウイルスの感染が拡大している傾向にあります。

感染された方の1日も早い回復をお祈りいたしますとともに、町民の皆様には、感染された方やご家族、濃厚接触者の方などが、差別や偏見、中傷などにさらされることのないよう、冷静な対応をお願いいたします。

感染拡大を防止するため、3密の回避やマスクの着用、身体的距離の確保、こまめな手洗いや手指消毒などの「新しい生活様式」の実践、感染リスクが高まる「5つの場面」の回避など、引き続き徹底くださるようお願いいたします。また、緊急事

態宣言の対象区域や感染拡大地域への不要不急の移動については、控えてくださるようお願いいたします。

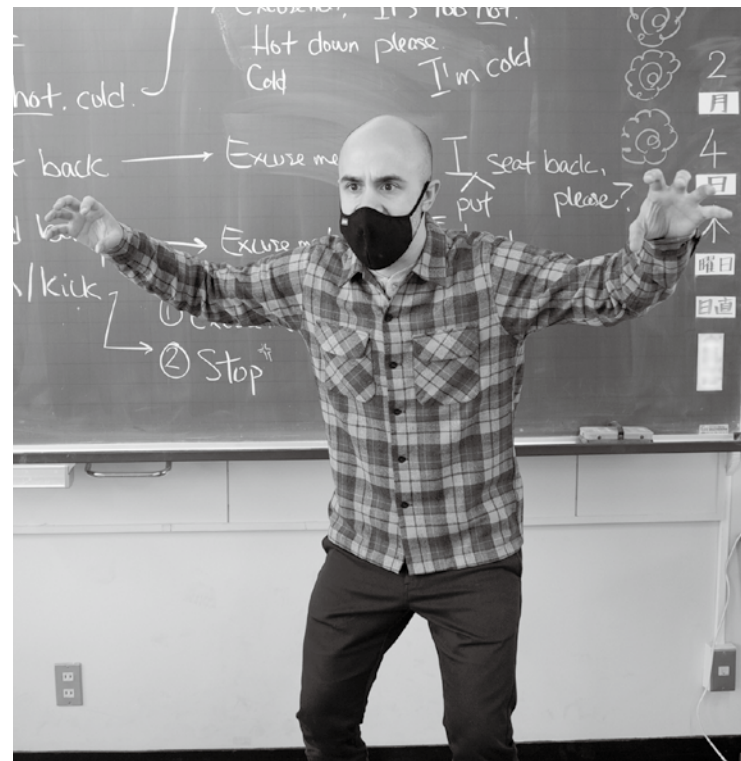
感染の拡大傾向を受け、町では公共施設の一部閉鎖や町主催イベントの中止等の対応を取っておりますので、ご理解くださるようお願いいたします。

最後になりますが、感染拡大を防ぐためには、町民一人ひとりの行動が大変重要となりますので、引き続き感染拡大の防止にご理解とご協力をお願いいたします。

朝日町新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長 朝日町長 鈴木浩幸



▶コミカルな表情とポーズで笑いを誘うマーティ先生
▲西小での授業風景。「マーティ先生の授業は面白くて楽しい！」と話していました
◀愛用のカメラを構えるマーティ先生



保育園から中学校まで町の子どもたちの成長を見守るALT

モラ・マーティ さん(大町)

今回はマーティ先生の希望により、方言で話し言葉のままでお送りします。

広報担当（以下、広） 日本には何で来たんですか？

マーティ先生（以下、マ） 飛行機です。広 いや、そういうことじゃなくて。

マ 平成16年から3年間、河北町のALTをやったんだ。ほして、平成19年阿部喜栄治さん（大暮山）の誘いがあったよ、朝日町に来たんだ。

広 そうなんですね。では何がきっかけで日本に興味を持ちましたか？

マ 初めは日本の風景の写真集を見たっけよ。京都の古い街並みや神社などがその美しい風景に目を奪われたっけんだ。その後、17歳の時に「葉隠」（山本常朝著）を読んで日本の哲学に興味を持ち、大学で日本語を勉強したんだよ。日本に来たてしょうがねえっけから、日本さきたんだ。

広 朝日町に初めて来たときの印象はどうでしたか？

マ ほだな話もう覚えてねえは〜。朝日町に住んでいるのが当たり前になっ

たんだからよ〜。故郷のウインザー市は小さな街で住んでる人が親切、料理が美味しいところなんだけど、そういってどこを朝日町はもっと超えてっから、覚えてねんだかもしんね。

広 マーティ先生の趣味はなんですか？
マ 趣味は写真を撮影すること。いつもカメラを持ち歩いてっからよ。カメラが趣味の人って旅行先の風景とか特別なものを撮影するっていう人が多い気がすっけど、俺は逆で日常的な風景の中に新しい発見とか不思議なものを見つけるためにシャッターを切ってた。

俺の師匠の櫻井武男先生（夏草）からはお前下手くそと言われるけども（笑）。でも櫻井先生はストレートに感想を言ってくれんのでありがたいんだ。良い師匠だ♡あとは最近撮った写真を見られていないので撮影したものを見返すのが今年の目標だな。

広 英語と日本語についてはどう思いますか？

マ さっき大学で日本語を学んだって話をしたけど、その日本語は役に立たなくてよ。みんな方言を使うから慣れる

のに時間がかかったんだ。英語を聞いたのを頭の中で日本語に訳して、日本語で言うこと考えてそれを英語に訳して話すというのをみんなやっているよね。俺はその逆だけど、訳さなくてよかったのは日本に来て6〜7年くらい経ってからだっけ。今は考えなくてもズーズー弁しか出てこねんだ。

広 町の子どもたちはどう？
マ 大、大、大好き。みんな英語の学習頑張っただね。そんなみんなと毎日授業ができるというのは幸せなこと。一般的なALTは長くて5年くらいしかいないけど、僕は保育園から中学校卒業まで成長をずっと見ている子もいるんだ。それは僕の宝物だなと思うよ。

広 子どもたちへメッセージをどうぞ。
マ これからの時代必ず英語と付き合っていかなければならないので、成績のためだけでなく、英語の本を読んだり英語で映画を観たりどんな形でもいいから続けてほしいな。それと英語はコミュニケーションを取ることが大事。間違えてもOK！失敗しながらコミュニケーションをとってけれ！

阿部良子さん（元町）が「自分を励ます絵手紙」

第4集を出版



これまでに出版した4冊の作品を持ち笑顔の阿部さん

約20年前から趣味で絵手紙を描いている阿部良子さん（元町）が、このたび自身の卒寿の記念として4作目となる作品集を出版しました。今回の作品集は、絵手紙だけでなく川柳に言葉を添えた川柳画も初めて掲載。約70頁に100枚の絵手紙と102枚の川柳画が掲載されています。

「私の絵手紙は自分を励ますために自分宛てに描いたのが始まりです。自己流のつたない絵手紙ですが、展示会等でほめていただいたり、感動したという感想をいただいたりすると描いてきて良かったなと思います。これから描いてきた絵手紙に励まされながら、描き続けていきたいです」と笑顔で語る阿部さん。

これまでに出版した阿部さんの作品は全て町立図書館で読むことができます。ぜひご覧ください。

スポーツ大会の入賞結果

■第24回朝日町民柔道大会 (12月20日／町民武道館)

- ◆小学3年生以下の部
- ①布施志乃（松程） ②阿部太陽（常盤） ③芳賀湊大（寒河江市）、浅岡優作（緑町）
- ◆小学4年生以上の部
- ①海野真穂（緑町） ②阿部蒼空（常盤） ③熊合重（緑町）、布施穂（松程）
- 敢闘賞：阿部陽菜（常盤）、芳賀丈慈（寒河江市）
- ◆中学生以上 女子の部
- ①若月保歩（西船渡） ②佐竹萌（常盤） ③海野結菜（緑町）、若月乃朱（西船渡）
- 敢闘賞：白田華里（大谷第二）、菊地舞（西町）
- ◆中学生以上 男子の部
- ①若月真都偉（西船渡） ②菊地翔悟（夏草） ③遠藤柊吾（真中）、菊地健人（西町）
- 敢闘賞：長岡大聖（常盤）、西澤峻（西原）、渡邊優（大谷第二）



町地域おこし協力隊と桃色ウサヒの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「朝日町での2年目の活動について」

きみと
移住・交流推進員（地域おこし協力隊） 鈴木公人（南陽市出身）



らないことを実施するほかに、オンラインを活用して全国各地の地域おこし協力隊員との情報交換を行うなどコロナ禍だからこそその手段を使って様々な人と交流を行いました。そんな中、つい先日、栃木県の協力隊員の方から今が旬というイチゴが届きました。今度はこちらからも町の特産品を送り交流を深めていこうと思います。そしてコロナが収束した折には松本亭にも足を運んでいただき、こういったつながりから関係人口を増やすきっかけにしていきたいと思っています。

オンラインを活用することは実際に会うことができない今の状況でも気軽につながる事ができ、これからつながるきっかけを作る方法として有効だと気付かされました。

まだまだ今の状態ではコロナウイルスの収束は先になりますが、これからはいろいろな手段・方法を使って町の交流人口、関係人口の創出につなげていきたいと思っています。来年度は地域おこし協力隊最後の年となる3年目です。どうぞよろしくお願いします。

特別拡大版

町立図書館のご案内



■2020年 町立図書館 貸出しランキング 【一般書 TOP 5】

タイトル／著者	出版社
1 ライオンのおやつ／小川糸	ポプラ社
2 クスノキの番人／東野圭吾	実業之日本社
〃 さよならの儀式／宮部みゆき	河出書房新社
〃 ぼくはヒーローでホワイトで、ちょっとブルー／フレディみかこ	新潮社
〃 猫君／畠中恵	集英社

【児童書 TOP 5】

タイトル／著者	出版社
1 なんだろうなんだろう／ヨシタケシンスケ	光村図書出版
〃 わたしのわごむはわたさない／ヨシタケシンスケ	PHP研究所
3 しょうがくせいのおばけずかん／斉藤洋	講談社
〃 なまえのないねこ／竹下文子	小峰書店
〃 ぱぱんがパン！／柴田ケイコ	アリス館

※同順位はタイトルの50音順で掲載

ピックアップ！おすすめの既刊 など



「ライオンのおやつ」 小川 糸 著

若くして余命を告げられた華は、残りの日々を瀬戸内の島のホスピスで過ごすことを決めた。穏やかな景色の中、本当にしたかったことを考える華。ホスピスでは毎週日曜日、入居者がリクエストできる「おやつの時間」があつて…。



特集
2020年に町立図書館で最も読まれた本
「ベストリーダー 20」

【今月のブックテマコーナー】
2020年、朝日町立図書館で最も読まれた本ベスト20を、「一般書」「児童書」それぞれ紹介。

第164回直木賞受賞作 「心淋し川」



西條 奈加 著

江戸の片隅、小さなどぶ川沿いに立ち並ぶ古い長屋。住民たちは人生という川のどん詰まりでもがいていた。懸命に生を紡ぐ人々の切なる願いが胸にしみる連作時代小説。

第164回芥川賞受賞作 「推し、燃ゆ」



宇佐見 りん 著

ままならない人生をひきずり、折るようにアイドル上野真幸を推すあり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し…。

新刊案内

【その他の新刊】

▼天を測る／今野敏 ▼さのよいよい／戌井昭人 ▼当確師 十二歳の革命／真山仁 ▼インビジュアル／坂上泉 ▼にほんでいきる／外国からきた子どもたち／毎日新聞取材班 ▼囚われ者たちの国／世界の刑務所に正義を訪ねて／バズ・ドラインシンガー ▼ある日、うちの子が学校に行かなくなったら／鈴木あや ▼癒されながら脳力アップ！絶景写真でまちがい探し！楽しみだけで脳が活性化！眺めるだけでヒーリングブルー！篠原菊紀 ▼志麻さんの台所ルーラー！毎日のごはん作りがラクになる、一生ものの料理のコツ／タサン志麻 ▼お寺のどうぶつ図鑑／今井洋平 ▼神社のどうぶつ図鑑／茂木貞純 ▼図解SDGs入門／村上芽 ▼十二支えほん／谷山彩子 ▼感染症ってなんだろう？／岡田晴恵 ▼渋沢栄一人物として／こどもくらぶ ▼ながれぼし／武田康男 ▼こたつ／麻生知子 ▼死にたい『消えたい』と思ったことがあるあなたへ／河出書房新社 ▼カヨちゃんちとはうぶ屋さん／つちだよしはる ▼999ひきのきょうだいのおやすみなさい／村上康成 ▼かいけつゾロリのまいにちおもしろクイズ1年分／土門トキオ ▼かいけつゾロリきょうふのエイリアン／原ゆたか ほか

戸籍のまど

Asahi town

12月1日～1月31日届出

Births

すこやかに

区 名	出生児氏名	性別	保護者名
松 程	阿 部 舜 士	男	竜明・由理香

Marriages

おしあわせに

菅 野 純 平 (東根市)	鈴木 絵 莉 (西 町)
鈴 木 雅 也 (宿)	武 田 未 翔 (山形市)
遠 藤 勝 (栗木沢)	志 藤 直 美 (川 通)
渡 邊 浩 (四ノ沢)	石 塚 美 季 (戸沢村)

Obituaries

やすらかに

区 名	死亡者氏名	世帯主名
立 木	阿 部 與 助	みねよ
水 本	岡 崎 と き	錦 一
小 原	清 倉 せ 弘	寿 浩
大谷第三	柏 田 敏 子	あきゑ
大 沼	白 尾 訓 と	正 俊
松 原	松 田 も 助	本 人
助ノ巻	柴 田 長 助	孝 司
本 町	村 山 美代子	昭 子
松 程	鈴 木 孝 雄	新 一
西 町	長 岡 春 雄	時 幸
助ノ巻	富 樫 穂 登	一 きよみ
杉 山	安 藤 正 一	和 彦
杉 山	齋 藤 登 一	渚 男
大 町	佐久間 徳 一	健 男
栗木沢	菊 地 ぶ う	茂 子
今 平	鈴 木 富 子	初 雄
松 程	鈴 木 ミツノ	武 夫
元 町	清 野	

Population

人口と世帯数

●令和3年 1月31日 現在

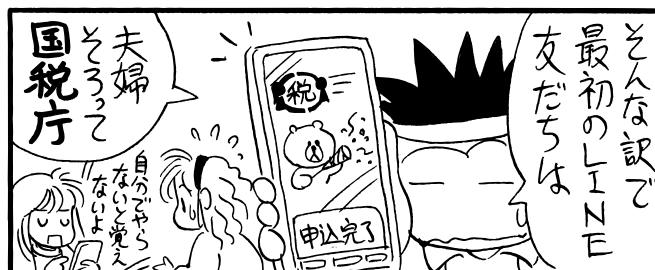
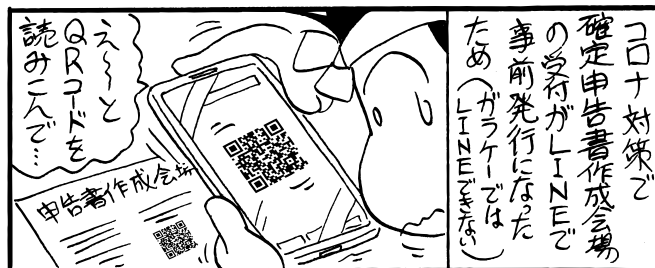
※()内は11月比

人 口	6,538 人 (-29)
男	3,239 人 (-13)
女	3,299 人 (-16)
世帯数	2,401 世帯 (+ 1)
----- 12月～1月中の異動 -----	
出生	1人 転入 16人
死亡	25人 転出 21人
	(※外国人を含む)

こないのリンゴさん

(329)

ホリイ



掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

広報誌で、ふるさとのぬくもりを

町外在住者の広報誌定期購読を受け付けています。

「町外に住んでいるけど朝日町の情報が欲しい...」。町では広報誌の定期購読制度を設け、こうした声にお応えしています。遠方にお住まいのご家族や親類の方々にご紹介ください。



▶料 金 年間1,680円 (1ヵ月あたり140円)

▶申込み方法

下記へ電話、メール等でお申込みください。後日郵便払込取扱票をお送りします。

▶申込み先 政策推進課 ☎0237-67-2112
E-mail inform@town.asahi.yamagata.jp



非常時はもちろん時短にも！ パックフッキング

【令和2年度 第10回】

今月の担当...菅井 久美子 主任



- 災害時には、水道やガス、電気などのライフラインがストップすることもあります。中でも水は何かと使う場面が多くあり、災害時には節水が必要となります。そんな時に役立つのが、食材を耐熱性のポリ袋に入れ、湯せん調理をする「パックフッキング」です。加熱に使った水が汚れないので再利用できる、袋のまま食器によそえば食器が汚れない等のメリットがあります。
- ▽バ缶の炊き込みご飯
- ◆材料 (2人分)
無洗米1合、水240cc、サバ缶(汁ごと) 1つ
- ◆作り方
①袋に材料をすべて入れる。
②空気を抜き、しっかりと上部で結ぶ。(加熱すると膨らむため、結び目はなるべく上の方に。火が通りやすいよう平らに広げる。)
③少しおいて浸水させる。
④湯を沸かした鍋に入れ、一度沸騰させてから、弱火で60分加熱する。
- ▽問合せ先
健康福祉課 保健医療係
☎67-2116
- 「湯せんパン」
◆材料 (4〜5人分)
ホットケーキミックス150g、卵1個、バター10g、牛乳150g
- ◆作り方
①袋にバターを入れて湯煎して溶かす。
②卵、牛乳を加えて袋をもみながら、よく混ぜ合わせる。
③同じ袋にホットケーキミックスを加えて、よく混ぜ合わせる。
- ④空気を抜き、袋の上部を結び(空気が入ると浮いてしまい、うまく湯せんできません。)
⑤沸騰しない程度のお湯に入れて40分加熱する。
- 工程がシンプルで、袋ごとに違う料理を一度に作れるので、時短テクニックとして普段から役立ちます。他にも様々なレシピがインターネット上で公開されていますので、お気に入りを探してみてください。

町全体が博物館！

朝日町エコミュージアム

サテライト散策



【一言メモ】QRコードを読み込むと「案内人のつばやき」で語られている松程農村公園が表示されます

第41回 松程新堰

【DATA】石須部橋の下、朝日川右岸で取水し、太郎地内を通り松程まで約5kmの用水路。

安政元年(1854)松程村の堰守をしていた松五郎は太郎村との水争いを無くし、集落の東側にある沖野々の原野を切り開いて田畑を作ろうと朝日川から水をひくことを考え、名主の春吉と相談をして松山藩の代官所からも援助してもらい、村人達と工事を始め、一年余りで石田淵から松程までの水路を完成させました。途中の皆朱沢では、木製の樋を渡すなどの工夫をして引かれた水は田畑をうるおし、防火用水や生活用水として大きな役割を果たしています。

案内人のつばやき

松程の農村公園の一角に新堰がつくられたことを記念する「新堰満水塔」と「新堰開鑿記念碑」があるんだよ。また長松院裏の境内には沖野々地区を見渡すように松五郎と春吉のお墓が建てられており、松程の人々が二人に寄せる感謝の思いが今に伝えられているんだよ。





◀児童たちが制作したふるさとCMのラストシーン。

大谷小学校6年生が制作したふるさとCM 町ホームページにて配信中！

大谷小6年生が制作したふるさとCMが町ホームページで配信されています。このCMは総合的な学習の時間に町情報交流総合アドバイザーの佐藤恒平さんの指導の下、動画の撮影から音声の収録、編集までほぼ全ての作業を児童たちがこなし、12月9日の山形ふるさとCM大賞でテレビ放送されたものです。制作した児童は「どのようにCMを作れば、見る人の興味を引きつけられるのか、動画制作のテクニックを学ぶことができた。今回学んだことを将来、何かの形で生かしていきたい」と話していました。

2月8日には、児童たちから町へホームページでのCM配信の申し入れがあり、素晴らしいプレゼンテーションの結果、ホームページで配信することとなりました。6年生の担任の田口先生は「今回、ふるさとCMに挑戦したことで、自分達が住む朝日町のよさを見直す良い機会になったと思います。佐藤恒平さんに教えて頂いた動画制作の学習を通して、『自分の想いを形にする楽しさや喜び』を味わうことができてよかったです」と語っていました。CM動画は町ホームページのトップページ「まちの写真館」から見るができます。ぜひご覧ください。

▶動画の素材を撮影する児童たち



◀この学習を通してパソコン作業にも習熟



▶プレゼンテーションでは資料も全て子どもたちが制作



らくらいの年齢の時は成果を紙にまとめてクラス内で発表するところまでで、学校外部の方に向けてプレゼンするということはなかったと思います。ましてや最近の子どもたちは最新のパソコンやタブレットを駆使し、プレゼン資料や動画すら制作してしまいます。社会に出たらば間違いないと思うであろう技術を既に身につけようとしている子どもたちのことを誇りに思いました。

鈴木貴典

春夏秋冬
編集後記

町の未来を明るく照らす
子どもたちの活躍

朝日中学校第二学年の総合的な学習の時間について特集しました。生徒たちの学びの成果をまとめた「朝日探究報告書」を読むと、その学びの深さに驚かされます。テーマの立案や考察、レポートのレイアウトや構成などいくつものスキルを必要とする内容がそこにはありました。裏表紙に掲載している大谷小学校6年生のふるさとCM制作の時にも感じたのですが、最近の町の子どもたちの行っている自発的な学びには目を見張りました。私が彼